

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【公開番号】特開 2014-237316 (P2014-237316A)
 【公開日】平成 26 年 12 月 18 日 (2014.12.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-070
 【出願番号】特願 2014-117580 (P2014-117580)
 【国際特許分類】

B 4 1 N 1/24 (2006.01)

B 4 1 N 3/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 N 1/24

B 4 1 N 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 10 日 (2017.5.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鋼製の布帛から成る少なくとも 2 つの布帛層 (11, 12) を有するスクリーン構造 (10) を製造する方法であって、

第 1 のロール (1) に第 1 の布帛層 (11) を用意し、第 2 のロール (1) に第 2 の布帛層 (12) を用意し、

前記第 1 及び第 2 の布帛層 (11, 12) を合流させて互いに接触させ、

前記第 1 及び第 2 の布帛層 (11, 12) を一緒に金属被覆し、被着された金属 (15) により両布帛層 (11, 12) を互いに固く結合し、1 つの布帛結合体 (13) を形成する、

ことを特徴とする、スクリーン構造を製造する方法。

【請求項 2】

前記布帛結合体 (13) を第 3 のロール (9) に巻き取る前に、前記布帛結合体 (13) の後続の洗浄 (5) 及び乾燥 (6) 並びに光に反応する感光層 (14) 又は局所的に除去可能なポリマー層の被着を実施する、請求項 1 記載のスクリーン構造を製造する方法。

【請求項 3】

前記金属被覆を、外部電源を用いない金属析出 (15) を伴う化学的な金属被覆として実施する、請求項 1 又は 2 記載のスクリーン構造を製造する方法。

【請求項 4】

前記金属被覆を、ニッケル浴 (3) 内での電気化学的なめっきとして実施する、請求項 1 又は 2 記載のスクリーン構造を製造する方法。

【請求項 5】

スクリーン印刷用のスクリーン構造 (10) であって、互いに略平行に配置される鋼製の布帛から成る少なくとも 2 つの布帛層 (11, 12) を備え、特に請求項 1 記載の方法により製造されるスクリーン構造 (10) において、

前記布帛層 (11, 12) には、めっきにより被着された金属層 (15) が設けられており、前記布帛層 (11, 12) は、前記金属層 (15) により互いに結合されている、ことを特徴とするスクリーン構造。

【請求項 6】

前記金属層（ 1 5 ）は、主としてニッケルからなる、請求項 5 記載のスクリーン構造。

【請求項 7】

前記布帛層（ 1 1 , 1 2 ）は、それぞれ異なる布帛形式の布帛層である、請求項 5 又は 6 記載のスクリーン構造。